

1. 件名：事業者によるパフォーマンス指標の収集について
2. 日時：令和3年2月3日 16時30分～17時30分
3. 場所：原子力規制庁2階会議室（テレビ会議システムを利用）
4. 出席者：
原子力規制庁
原子力規制部検査グループ
 実用炉監視部門 高須統括監視指導官、反町主任監視指導官、糸川原子力運転検査官

原子力エネルギー協議会

部長 他2名

東京電力ホールディングス株式会社

原子力運営管理部 保安管理グループ チームリーダー 他2名

中部電力株式会社

浜岡原子力発電所 安全品質保証部 品質保証グループ スタッフ副長

九州電力株式会社

原子力発電本部 原子力設備グループ 担当

5. 要旨

(1) 原子力エネルギー協議会（以下「ATENA」という。）から、事業者として共通的に採取するパフォーマンス指標（共通PI）及び各社で要否を判断して採取するパフォーマンス指標（推奨PI）のうち横断領域に係る指標について、提出資料に基づき以下の説明があった。

- 複数の監視領域に関係し、かつ、結果として現れる前の段階でパフォーマンスに関係する指標を自主的な横断領域PIとする方針としている
- 横断領域PIの多くは、収集する項目や定義は各発電所の特性に適したものとするために各発電所で個別に設定している
- このうち18指標は、原子力規制委員会に報告している保安検査における指標と同じ項目としている

(2) 原子力規制庁から、第3回検査制度に関する意見交換会合（令和2年12月22日）の議論及び事業者が採取しているパフォーマンス指標の現状を踏まえ、今後、保安検査指標の取扱いについて検討する旨を伝え、ATENAより了解した旨回答があった。

6. 提出資料

資料1：事業者共通自主PIについて

資料2：横断領域の自主PIについて